

「全国小学生『未来』をつくるコンクール」を開催！

9月12日まで、作文・自由研究・環境・絵画の作品を募集

～夏休みが短くなる今年、特設サイトで時間をかけずに取り組めるテーマを紹介～

株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山市、代表取締役社長：小林 仁、以下：ベネッセ）の社内シンクタンク ベネッセ教育総合研究所では、「進研ゼミ小学講座」他3者とともに、「全国小学生『未来』をつくるコンクール」を開催します。

今年で17回目を迎える本コンクールでは、子どもたちが日頃の学習で身につけた考える力や表現力を活用し、幅広い自由研究を通じて個性や創造力を発揮する機会として2004年度から開催しています。2020年度は作品募集を7月1日からスタートし、「作文部門」「自由研究部門」「環境部門」「絵画部門」の4部門で、9月12日まで募集します。

今年は新型コロナウイルス感染症対策の影響を受け、夏休みが短くなることで、自由研究や作文など時間をかけて考えて表現する宿題が少なくなることが予想されます。その一方で、自由研究や作文は、教育改革で2020年度から重視されている「探究学習」の一環として、自由研究や作文は課題発見・解決力や表現力などの汎用的な力を高める絶好の機会です。夏の学習が例年通りにはいかない中でも、「進研ゼミ小学講座」はコンクール開催を通して子どもたちに「『未来』をつくる力」を育む機会を提供していきたいと考えています。

今年は、6月25日より本コンクールの特設サイトをリニューアルし、「おすすめの自由研究のテーマ診断」をご用意しています。なかなかテーマが決まらない時に手軽に検索できたり、時間がなかったり、外出の機会が減ったりする中でも取り組めるテーマを紹介しています。子どもたちがご自宅で探究心を持って自主的に取り組んでいただきやすいサイトとなっています。

また、お子さまを見守り応援する保護者の気持ちを後押しできればという想いから、7月1日より「こどものせなか写真コンテスト2020」を開催します。お子さまのがんばる後ろ姿の写真をInstagramで投稿募集（#こどものせなか写真コンテスト2020）いたします。入賞作品は10月下旬に「『未来』をつくるコンクール」公式サイト上で発表予定です。



#こどものせなか写真コンテスト2020



おすすめの自由研究テーマ診断

ピッタリのテーマが見つかる
自由研究テーマツール！

診断 探す

お子様にオススメのテーマはコレ！！

クリックするとやり方やヒントが出てきます。
お子さまといっしょにご覧ください。

- ☒ 21. ヤドカリの卵のつくりを調べよう！
- ☒ 23. アリの巣を観察しよう！
- ☒ 38. よく見えない飛行機を作ろう！
- ☒ 42. じゃがいもや芋にできる虫を調べよう！
- ☒ 48. 打ち水の効果を調べよう！
- ☒ 53. 植物の葉の形やつき方を調べよう！
- ☒ 72. 水垢の成分の調べよう！
- ☒ 90. 身近な地味に多くみられる地名を調べよう！
- ☒ 91. 道の形をしらべよう！
- ☒ 92. 立体地図を作ろう！
- ☒ 95. 未来の町を計画しよう！
- ☒ 100. 昔からの年中行事を調べよう！
- ☒ 119. 家族年表をつくろう！
- ☒ 120. 虫がどこから来るか調べよう！
- ☒ 121. 地図で道をつくらせて家のまわりの地図をつくろう！
- ☒ 122. すきな野菜の生きたプランティングをつくろう！
- ☒ 125. ゴミのゆくえをしらべよう！
- ☒ 126. みえないようばうせつびをしらべよう！

※正しいやり方やヒントがないと、画像を撮る際に必要なテーマがありますのでご注意ください。

他のテーマを見る もう一度診断する

<「第17回 夏のチャレンジ 全国小学生『未来』をつくるコンクール」概要>

- 対 象 : 全国の小学1年生～6年生
- 募集期間 : 2020年7月1日(水)～9月12日(土)
- 募集テーマ: 部門と学年別。詳細は後述参照
- 受賞者発表 : WEBサイトにて2021年2月(予定)
- 賞品と参加賞: 詳細は後述参照
- 主催・共催・後援:



<主催>ベネッセ教育総合研究所

<共催>進研ゼミ小学講座、ベネッセグリムスクール、アップ教育企画、ベネッセの学童クラブ

<後援>文部科学省、環境省、東京都教育委員会、全国小学校理科研究協議会、全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会、全国教育研究所連盟、一般社団法人環境教育振興協会、全国都道府県教育委員会連合会、公益社団法人日本PTA全国協議会、

- 問い合わせ先:「第17回 全国小学生『未来』をつくるコンクール」事務局

0120-92-5096(通話料無料9:00-21:00)

詳細はWEBサイトをご覧ください。<https://sgaku.benesse.ne.jp/sho/all/others/concour/>

<2020年度「第17回『未来』をつくるコンクール」各部門の募集テーマ>

作文部門	小1・2	「ぼくが わたしが もしも まほうを つかえたら」
	小3	「最近うれしかったこと」
	小4	「きみが夢中になっていること」
	小5	「これから挑戦したいこと」
	小6	「きみの将来の夢について伝えよう!」
自由研究部門	小1・2	「ぼくが わたしが 見つけた 生きものの かんさつカード」
	小3・4	「きみの不思議調査」
	小5・6	「きみの発見調査レポート」
環境部門	小3	「発見! エコほうこく!」
	小4～6	「きみのエコ活動報告」
絵画部門	小1～6	「思いきり かこう、すきな ものを。」

<賞品・参加賞> ※各賞の受賞者数は小学1～6年生まで全学年合わせたものです。

◆大賞【各部門×各学年1名】

(作文6名、自由研究6名、絵画6名、環境4名)

Nintendo Switch Joy-Con(L) ネオンブルー/(R) ネオンレッド(※Nintendo Switchは任天堂の商標です。)、オリジナルメダル、表彰状

◆文部科学大臣賞【大賞の中から計4名】

(作文1名、自由研究1名、絵画1名、環境1名)

・特別な表彰状

◆優秀賞【全部門共通 各部門×各学年最大10名】

(作文60名、自由研究60名、絵画60名、環境40名)

・オリジナル図書カード1,000円分、表彰状

◆審査員特別賞【各部門 若干名】

・オリジナル図書カード 3,000 円分&オリジナルメダル、表彰状

◆全国小学校理科研究協議会 会長賞【自由研究部門の中から 1 名】

・オリジナル図書カード 3,000 円分&オリジナルメダル、表彰状

◆参加賞【全員】

・参加表彰状

■「こどものせなか写真コンテスト 2020」開催概要

- ・期間 2020 年 7 月 1 日（水）～9 月 12 日（土）
- ・Instagram アカウント @mirai_concours
- ・応募用ハッシュタグ #こどものせなか写真コンテスト 2020
- ・優秀作品の発表 「『未来』をつくるコンクール」公式サイト上で発表（10 月下旬予定）

#こどものせなか 写真コンテスト2020



お子さまがこの夏チャレンジする姿を写真に収めてみませんか？
がんばる姿を見守りながらベストショットを残しましょう！

夏のおうちでの探究学習 保護者の働きかけのコツ

ベネッセコーポレーション 「夏のチャレンジ 全国小学生『未来』をつくるコンクール」
プロジェクトリーダー 黒瀬裕之



探究学習ではつい「難しいことをしないと」と考えがちですが、テーマは意外と身近なところにあります。例えばお子様が普段されている遊び、家族との日常生活に関することなどです。日ごろから触れていたり、真剣に取り組んだりしているものほど疑問も浮かびやすくなり、お子様の「やってみたい」につながります。お子様の好きなもの・こと、ご自宅で育てている植物やペット、料理、家事など遠出をしなくとも身近なテーマで十分です。例えば、おうちに届くチラシや外で育つ植物など生活の中で気になることがあったら、お子様のまえて、保護者の方ご自身がまず調べてみてください。身近な物事に疑問を抱き、それを進んで解決しようとする姿勢を見せることで、お子さまにも自然と同じ姿勢が身につくはずです。

また、研究やレポート作りを進めるうちに、次はどうすればよいかと息詰まるような場面では、保護者のサポートも力を発揮します。そんなとき「『未来』をつくるコンクール」受賞者の保護者が試みていたのが、「どうしてそう考えたの？」と問いかけること。答えを言うのではなく、ひと言客観的なアドバイスを与えることで、子どものモヤモヤが解け、考えを整理できたり、本来の目的に立ち戻ったりするきっかけになります。

コンクール受賞者の保護者に聞いた、子どもへのサポート例

- 考えに行き詰まったとき「どうしてそう考えたの？」などと問いかけて、**頭を整理しやすくした。**
- 「調べた内容を、表やグラフを使うとわかりやすくなるのでは」など、**見る人の立場からアドバイスした。**
- 工作で難しいところは、（代わりにやるのではなく）**ケガをしないようにお手本を見せた。**
- 「調べたい」「聞きたい」場所には、**ひとりでは無理だからとあきらめさせずに一緒に行った。**



2019 年度 参加者の声

小4 女子 保護者

夏休み中にこのコンクールの応募を知りました。娘は、何事も最後までやり切ることが多くなく、今回も娘は賞品に惹かれたものの、親としてはまたすぐ飽きるのではと思いつつ、本人に任せました。夏休み終盤、やはり、応募用紙は結局真っ白。ちょうどその時、よく行く奈良公園のシカがプラスチックゴミを大量に食べて命を落としているというニュースを娘と一緒に見ました。動物が好きな娘は、プラスチックゴミを、動物が食べていることに衝撃だったようです。その時、コンクール応募を思い出したようです。環境部門にするわ！と、パソコンでまずは奈良公園のシカのことを調べました。習い事や遊びの合間をぬって、誰に言われるでもなく少しずつ進めていました。意欲的な姿に親が驚きました。締め切りギリギリになってしまいましたが、最後まで意欲的に頑張った娘を誇らしく思います。

小3 男子 保護者

普段は長男気質で弟思い。いつも兄弟4人一緒にいるからこそ、できる研究があると思いました。結果をまとめるのには苦労していましたが、4人で力を合わせて意見を出し合いながら、少しずつ書き方を覚えていきました。おかげで1つの目標に向かって根気強く取り組めるようになり、兄弟げんかになっても、どうすれば解決できるかを自分で考えて行動するようになりました。

参考情報

◆ 2019 年度「第 16 回全国小学生『未来』をつくるコンクール」受賞作品

コンクールウェブサイト (<https://sgaku.benesse.ne.jp/sho/all/others/concour/>) で発表しています。2019 年度は 41,108 作品の応募がありました。

◆ 夏の学習にお役立ていただける WEB サイト

・「夏休みの自由研究 カンタン！ 解決策特集」

<https://benesse.jp/jiyukenkyu/>

240 以上の自由研究のテーマや実験の動画を用意しています。



・夏の宿題タイプ別診断

<https://sgaku.benesse.ne.jp/sho/all/others/concour/>

お子さまの性格に応じて、夏の宿題のおすすめの進め方アドバイスします。



◆ おうちでの夏の学習を支援する「進研ゼミ 小学講座」

「進研ゼミ小学講座」は、小学1年生から小学6年生まで継続してご受講いただける家庭学習サービスです。お子様の学校の教科書や授業進度、お一人おひとりの学力レベルや目標に合わせて学べる教材・サービスは多くのお客様にご支持いただいています。実力診断を元に個別にカスタマイズされた復習ドリルや、担任制の赤ペン先生の指導など、デジタルと人の個別指導の組み合わせを進化させ、お子様が主体的に自ら学ぶ習慣を身につけ、目標に向けて継続的に力を伸ばしていく学習をサポートします。

